

科目名	栄養学		
担当教員	豊田靖子		
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
4	後期	1	8
履修目的・授業概要			
リハビリテーションを行う場合、栄養状態によりその成果は大きく左右される。特に高齢者や障害者において栄養管理は重要な評価項目である。この講義の目的は運動と栄養、または生活習慣病と食事制限に関する知識を深めることである。			
到達目標			
低栄養状態の対象者に適切に対応できる。 生活習慣病の対象者に適切に対応できる。			
授業の形式・方法			
講義			
成績評価の方法・基準			
筆記試験			
学生へのメッセージ			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
Crosslink basic リハビリテーションテキスト 栄養学・生化学	吉村 芳弘	メジカルビュー社	3600

コマ	履修内容	教員
1	オリエンテーション	豊田
2	5大栄養素と人体への役割	豊田
3	運動時の栄養	豊田
4	フレイル、サルコペニア等	豊田
5	メタボリック症候群（糖尿病、高脂血症等）	豊田
6	心疾患（高血圧、慢性心不全）	豊田
7	腎疾患	豊田
8	試験	豊田
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名	臨床薬学		
担当教員	中山 恒 結城 幸一		
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
4	後期	1	8
履修目的・授業概要			
臨床における薬剤の効果を理解するために、主な薬物の特徴、作用機序を学ぶ。			
到達目標			
- 代表的な薬物の作用・副作用を理解する - 各疾患・症状に使用する薬物を知り、その働き方を理解する			
授業の形式・方法			
講義			
成績評価の方法・基準			
筆記試験			
学生へのメッセージ			
疾患の治療、症状の緩和のためにさまざまな薬物が使用されます。代表的な薬物を紹介しますので、「薬」の基礎を習得して下さい。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
はじめの一步の薬理学 第2版	石井邦雄・坂本謙司	羊土社	2900円＋税

コマ	履修内容	教員
1	オリエンテーション（薬の概念・歴史など）	中山
2	薬の投与と吸収、薬の作用・副作用	中山
3	呼吸器疾患・消化器疾患における薬物	結城
4	脳・神経系に作用する薬物	中山
5	循環器疾患・血液疾患における薬物	中山
6	疼痛緩和・炎症・解熱に用いる薬物	中山
7	代謝性疾患における薬物	中山
8	試験	中山
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名	救急救命		
担当教員	鳴海 繭花 畑中 亜希美		
実務経験	有		
対象学年	講義時期	単位数	時間数
4年	後期	1	15
履修目的・授業概要 急変時には、医療スタッフが協働しながら救急対応を行います。医療施設以外でも公共施設、交通機関、職場、学校などでも救急対応が必要なことがあります。授業では、不良の事故や急病に対する応急手当の方法、院内急変時対応について学習していきます。			
到達目標 1. 救急対応の考え方、急変時における初期対応の流れについて理解できる。 2. 心肺蘇生法の基礎知識と、一次救命処置の実際を理解できる。 3. 出血の種類と止血の手順を理解できる。 4. 院内急変時の対応について理解できる。			
授業の形式・方法 講義、演習、グループワーク			
成績評価の方法・基準 筆記試験 ※不合格者は再試験とし、再評価			
学生へのメッセージ 授業を通じて、救急救命についての基礎的知識・技術を習得し、興味関心を高め、いざという時に適切な対応を実践できる人が増えていくことを願います。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	
資料配布します			

コマ	履修内容	教員
1	わが国における救急医療体制	鳴海
2	救急患者・家族の特徴	鳴海
3	主要病態に対する治療処置 総論	鳴海
4	救急対応の考え方 急病とは	畑中
5	初期対応の流れについて 心肺蘇生法の基礎知識	畑中
6	一時救命処置の知識 出血の種類と止血の手順	畑中
7	一時救命処置の実際 止血法の実際	畑中
8	試験	鳴海 畑中
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名	作業療法概論Ⅳ		
担当教員	川上 和敏，西口 嘉和 石井 綾子，鈴木 渉 三浦 太一，西舘 潤		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
4	通	1	15
履修目的・授業概要			
総合Ⅱ期臨床実習前OSCEの実施，グループワークによる，基礎作業学の総復習（国家試験・卒後対策）。			
到達目標			
OSCEについては実習前に必要な知識・技術を身につける。			
国家試験に向けた取り組みに関しては，基礎作業学に関した必要な知識・技術の習得。			
授業の形式・方法			
演習			
成績評価の方法・基準			
出席率			
学生へのメッセージ			
全ては準備です。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
なし			

コマ	履修内容	教員
1	OSCE	各教員
2	OSCE	各教員
3	OSCE	各教員
4	OSCE	各教員
5	生理学（総論，細胞，筋，神経，感覚）	石井
6	生理学（総論，細胞，筋，神経，感覚）	石井
7	生理学（自律神経，呼吸，循環，消化）	西口
8	生理学（自律神経，呼吸，循環，消化）	西口
9	生理学（排尿，排便，内分泌，体温，老化）	石井
10	生理学（排尿，排便，内分泌，体温，老化）	石井
11	運動学（総論，四肢と体幹の運動）	川上
12	運動学（総論，四肢と体幹の運動）	川上
13	運動学（姿勢・運動分析），人間発達学	三浦
14	運動学（姿勢・運動分析），人間発達学	西舘
15	神経・筋系の障害	鈴木

科目名	職業倫理		
担当教員	川上 和敏, 西口 嘉和 石井 綾子, 鈴木 渉 三浦 太一, 西舘 潤		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
4	通年	1	8
履修目的・授業概要			
日本作業療法士協会における職業倫理指針にのっとり、各教員の持つ倫理観を知り、臨床応用について知見を深める。			
到達目標			
6人の教員の考える倫理観を見聞するなかで理解し、今後の各自の倫理観の獲得に思慮を深める。			
授業の形式・方法			
講義			
成績評価の方法・基準			
出席状況と授業態度にて採点			
学生へのメッセージ			
6人の教員それぞれに担当がある科目です。教員それぞれの個性ある授業展開も楽しみに。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
日本作業療法士協会 倫理綱領解説			

[illegible]

科目名	作業療法特論		
担当教員	川上 和敏, 西口 嘉和 石井 綾子, 鈴木 渉 三浦 太一, 西舘 潤		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
4	後	3	45
履修目的・授業概要			
国家試験に関わる基礎科目・専門科目の復習,およびグループワークによる国家試験対策。			
到達目標			
国家試験に向けた必要な知識を身につける。			
授業の形式・方法			
演習			
成績評価の方法・基準			
筆記試験			
学生へのメッセージ			
今までの知識をフル活用してください。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
なし			

[illegible]

科目名	作業療法研究実習Ⅱ		
担当教員	川上 和敏, 西口 嘉和 石井 綾子, 鈴木 渉 三浦 太一, 西舘 潤		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
4	通	2	45
履修目的・授業概要			
卒業研究の講義を踏まえ、各グループに分かれて研究実践し、卒業論文を作成する。			
到達目標			
研究に関する関連手法の理解を深める。			
授業の形式・方法			
演習			
成績評価の方法・基準			
参加態度と発表評価			
学生へのメッセージ			
最後まで粘り強く向き合うこと。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
なし			

[illegible]

科目名	臨床実習Ⅳ		
担当教員	作業療法学科教員・実習指導者		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	
4	前	8	360時間
履修目的・授業概要			
作業療法プロセス（臨床実習の手引き参照）の各項目を実施可能にする。 学内及び評価実習で学んだ知識と技術を実践する。			
到達目標			
1.作業療法士としての知識・技術・臨床推論・態度など基本的資質を習得する。 2.指導者の指導の下、一連の作業療法を実践できる。 3.チームにおける作業療法の役割と機能がわかる。 4.義務と責任および倫理観を修得できる。			
授業の形式・方法			
実習			
成績評価の方法・基準			
実習地での成績、実習終了後の報告・報告書の内容			
学生へのメッセージ			
臨床実習指導者の指示に従い、積極的な姿勢で取り組む。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
臨床実習の手引き	本校資料		

[illegible]

科目名	臨床実習Ⅴ		
担当教員	作業療法学科教員・実習指導者		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	
4	前	1	45時間
履修目的・授業概要			
実習指導者の指導・監督の下，地域リハビリテーションにおける作業療法の役割や実情を理解し，必要な知識や技術を学ぶ．通所・訪問領域での生活期リハビリ支援や他職種連携について学ぶ．			
到達目標			
1.地域リハビリテーションの現場で他職種連携や作業療法士に求められる役割，態度について理解する． 2.通所または訪問リハビリテーションにおける生活期の支援に必要な知識や技術を学ぶ． 3.地域作業療法の介入プロセスを理解する．			
授業の形式・方法			
実習			
成績評価の方法・基準			
実習地での成績、実習終了後の報告・報告書の内容			
学生へのメッセージ			
臨床実習指導者の指示に従い，積極的な姿勢で取り組む．			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
臨床実習の手引き	本校資料		

[illegible]

科目名	基礎作業療法学演習		
担当教員	川上 和敏, 西口 嘉和 石井 綾子, 鈴木 渉 三浦 太一, 西舘 潤		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
4	後	2	30
グループワークによる，作業療法のベースとなる専門基礎科目の総復習（国家試験・卒後対策）国家試験問題を解きつつ，各分野の理解を深め国家試験対応力を養う．			
到達目標 1．専門基礎科目及び専門科目を再整理し，アウトプットすることができる． 2．作業療法士として必要な知識を身につけることができる．			
授業の形式・方法 演習			
成績評価の方法・基準 卒業試験（国家試験形式）の成績			
学生へのメッセージ 4年間の総まとめの授業になります．今までの知識をフル活用してください．			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
なし			

[illegible]

科目名	作業療法評価学演習		
担当教員	川上 和敏，西口 嘉和 石井 綾子，鈴木 渉 三浦 太一，西舘 潤		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
4	通	2	30
履修目的・授業概要 グループワークによる，作業療法評価法の総復習（国家試験・卒後対策）			
到達目標 作業療法士に必要な知識を身につける。			
授業の形式・方法 演習			
成績評価の方法・基準 出席率，参加態度			
学生へのメッセージ 4年間の総まとめの授業になります。今までの知識をフル活用してください。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
なし			

コマ	履修内容	教員
1～30	作業療法評価の目的と領域 作業療法評価の時期と手順 全身状態・局所所見 呼吸・循環・代謝系の評価 運動系の評価 感覚系の評価 発達の評価 高次脳機能の評価(認知症を含む) 精神機能の評価 作業遂行の評価 基本動作の評価 日常生活活動の評価 生活関連活動の評価 義肢。装具の評価 自助具・福祉用具の評価 職業関連活動の評価 社会参加の評価 QOLの評価 個人因子の評価 環境因子の評価 ※内容は国家試験出題のガイドラインによる	各教員

科目名	作業療法治療学演習		
担当教員	川上 和敏, 西口 嘉和 石井 綾子, 鈴木 渉 三浦 太一, 西舘 潤, 原田		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
4	後	2	30
履修目的・授業概要 グループワークによる, 各領域毎の作業療法治療学の総復習 (国家試験・卒後対策)			
到達目標 作業療法士に必要な知識を身につける。			
授業の形式・方法 演習			
成績評価の方法・基準 出席率, 参加態度			
学生へのメッセージ 4年間の総まとめの授業になります。今までの知識をフル活用してください。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
なし			

コマ	履修内容	教員
1～30	治療の目的と意義 治療の組み立てと手順 医学的管理 運動系の治療 運動制御・運動学習 呼吸・循環・代謝系の治療 感覚系の治療 高次脳機能系の治療 作業遂行障害の治療 運動発達系の治療 義肢・装具による治療 基本動作の治療 日常生活活動の治療 生活関連活動の治療 環境調整 社会参加への関わり 治療・援助目標 治療・援助目標構造 治療・援助の場 疾患別アプローチ サクシヨンの技術習得 ※内容は国家試験出題のガイドラインによる	各教員

科目名	地域作業療法学演習		
担当教員	川上 和敏, 西口 嘉和 石井 綾子, 鈴木 渉 三浦 太一, 西舘 潤		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
4		1	15
履修目的・授業概要			
障害者雇用や就労支援の現状について、施設見学やビデオ等で障害者が実際に働いている様子をみて認識を深める。 社会制度、医療・介護福祉制度などを踏まえ、地域に求められる作業療法実践について学ぶ。			
到達目標			
1. 障害者雇用や就労支援の現状についてアウトプットできる。 2. 地域で活動する作業療法士として必要な知識を身につけることができる。			
授業の形式・方法			
講義・演習			
成績評価の方法・基準			
参加態度や出席率			
学生へのメッセージ			
主に旭川市内の障害者就労について、現場スタッフによる講話や見学実習を中心に展開します。現地実習では、すべての行動は現場の指示に従うこと。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
なし			

コマ	履修内容	教員
1	旭川の障害雇用と作業療法士の関わり	担当
2	あかしあ労働福祉センター 現地演習	担当
3	あかしあ労働福祉センター 現地演習	担当
4	障害者職業センターの概要,就労支援について	担当
5	障害者雇用の施策・実際について	担当
6	北海道障害者職業センターの各種演習①	担当
7	北海道障害者職業センターの各種演習②	担当
8	見学実習のまとめ	担当
9	見学実習のまとめ	担当
10	地域作業療法の基本理念	担当
11	関連法規・制度	担当
12	バリアフリーとユニバーサルデザイン	担当
13	住環境整備,福祉用具への適応	担当
14	地域・家庭生活支援	担当
15	就園・就学・就労支援	担当